

# 木靈戰士傳

美衣曉



# 木靈戰士伝

第一章 木靈在る丘

美衣 暁



木靈戰士伝



この身に  
神を宿すために

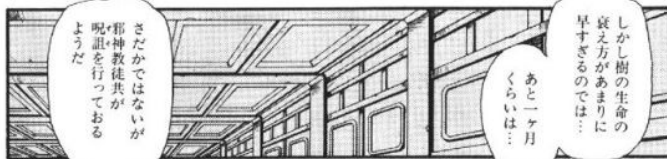


木霊戦士伝



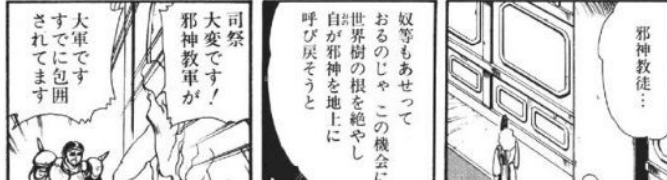
今……一つの神が  
息絶えようとしていた  
その神の名は世界樹  
神話の時代よりこの地に存り  
その霊力を持って  
天を支え  
世界を鎮護していた

しかしその樹も  
時のうつろいには勝てず  
今その命を終らう  
としていた……



しかし樹の生命の  
衰え方があまりに  
早すぎるのでは……  
あと一ヶ月  
くらいは……

さだかではないが  
邪神教徒共が  
呪詛を行って  
おる  
ようだ



邪神教徒……  
奴等もあせって  
おるのじゃこの機会に  
世界樹の根を絶やし  
自が邪神を地上に  
呼び戻そうと

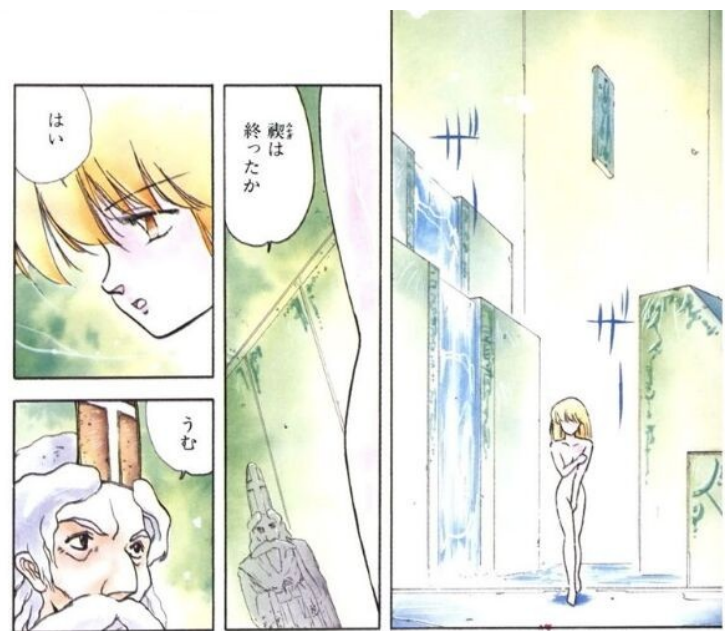
司祭  
大変です！  
邪神教軍が

大軍です  
すでに包囲  
されています



なんじゃと!?

うむ



はい

候は  
終ったか

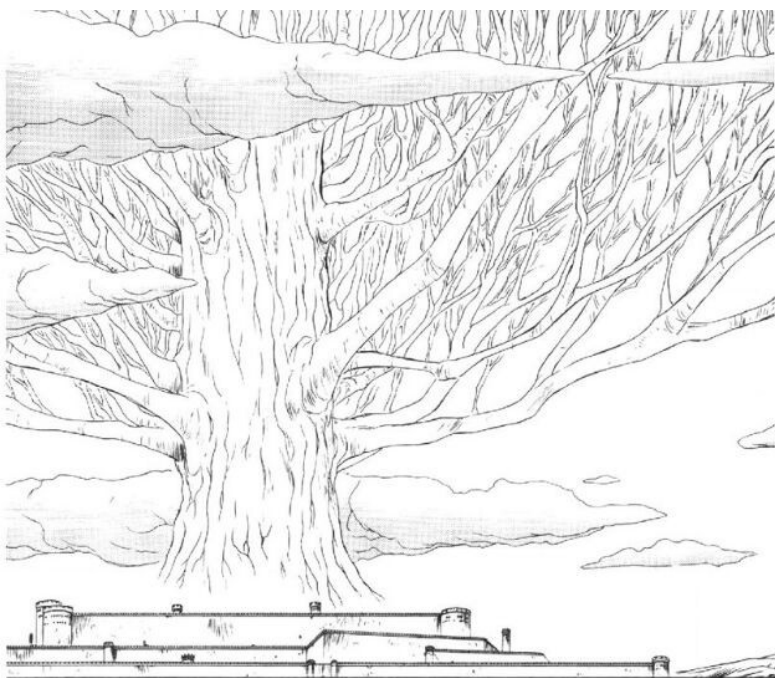


うむ



ならば急ごう  
一刻も早く  
儀式を行わな  
く  
ては……

世界樹の生命は  
あと一日も持たない  
のだ……



行け 我が忠実なる  
神軍達よ！  
死にぞこないの老木に  
とどめをさし  
我等が神を取り  
戻すのだ



死を恐れるな  
勇敢に死んだ者は  
楽園への道が  
約束されているぞ！



主よ暫の辛抱です  
今、貴方の頭上にある  
忌々しい老木を滅し  
自由にしてさし上げ  
ます



世界樹の樹  
すでに老いさらばえ  
見る影もないな！

木霊戦士伝



邪神教徒共の  
望みもそこに  
あるのじゃ



封印が失われれば  
邪神は再びその力を  
取り戻し地上に復活する  
であろう

世界樹は邪神の  
墓標であり  
封印なのじゃ



世界樹は太古の邪神を  
その根に抱いて生えておる  
邪神の屍の上に  
根を張っておるのじゃ



一刻も早く  
この大業を成さねば  
ならんのだ  
この世界の平和の為に！

お前の体に世界樹を  
接ぎ木する……



それを阻止するためにも  
今、世界樹を失う  
訳にはいかんのだ！



剣を持てる者は  
戦え！

一步たりとも  
邪教徒を城内に  
入れるでないぞ！



お前は  
儀式に集中  
していればいい！

おじい様  
私も戦います



私も戦士です  
戦力になれます

この城を守り  
たいのです！  
私の生まれ育った  
この城を！  
邪教徒共から！



ばか者！  
世界樹はもう  
いつ枯れても不思議  
ないのだ

もし世界樹の命を  
お前に宿せず  
木が枯れ  
世界樹の力を  
この世に残せねば

やがて復活する  
邪神と戦う術は  
ないのだぞ！！

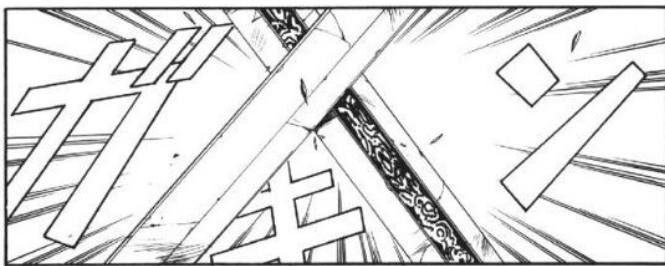
木霊戦士伝



すまぬ…

さあ行くぞ  
神蘇ぎの間へ!

はい



樹の一部でも  
生き残れば神の  
霊力は保たれる

しかし世界樹には  
もう自分の力だけで  
生きてゆく生命力は  
残っておらん

それ故お前の  
体が必要なのだ  
お前の体に樹を抜き  
お前の生命力を糧に  
樹を生かすのじゃ

そして樹を抜いた  
者は樹の持つ霊力  
をも継ぐ事が  
出きるのじゃ



お前の使命は  
世界樹の命を  
継ぎ…

世界樹の大木が  
朽ちた後、復活する  
であろう邪神を  
倒す事じゃ!



その使命を成就して  
いつか世界樹が  
昔の様な生命力を  
取り戻す時が来た  
なら

肥沃な土地を探し  
世界樹を植え、今の様な  
大樹に育ててくれ

重過ぎる任かも知  
しれん…  
しかし今はそれしか  
世界を救う術はない  
のだ

ゆるしてくれ…

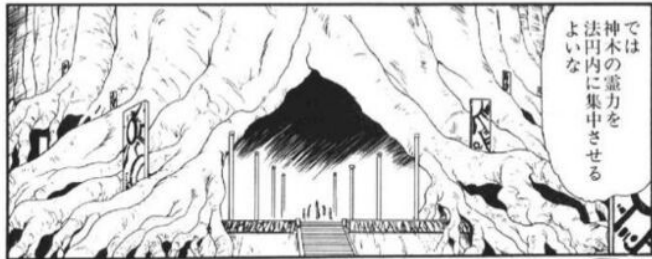
わかりました

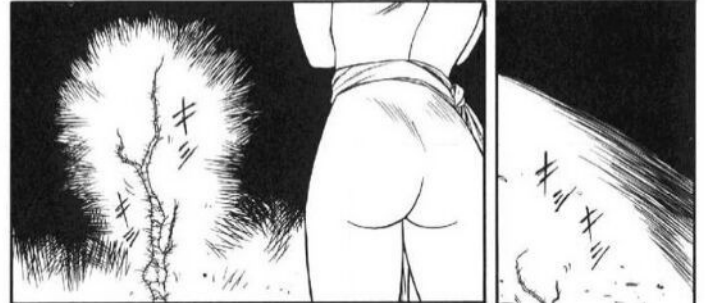
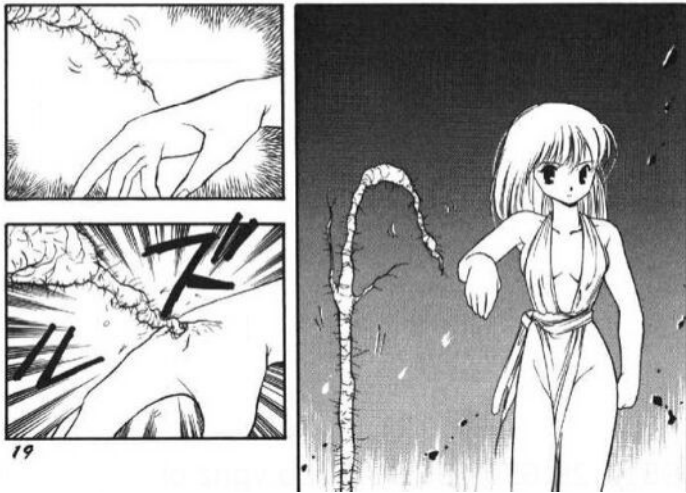
木霊戦士伝





木霊戦士伝

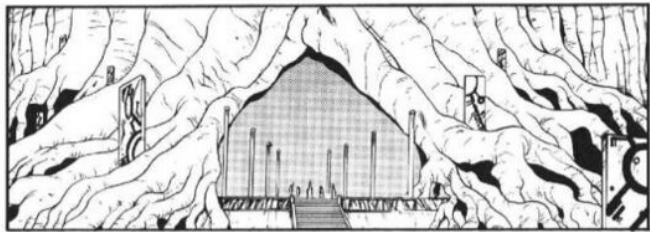




# 木霊戦士伝

木霊在る丘





木霊戦士伝



木霊戦士伝



風!?



何だ?!



貴様あゝゝゝ!  
いまさら何の  
小細工だあゝゝゝ!!



殺れ!!



きゃあっ!



シムランクヘルケ  
火獣鉄爪!!

うあつ!



邪魔立て  
するかあーっ



おうおう!  
おうおう!

ここはてめえら  
外道がくる  
場所じゃねえやいとつとと失せやがれ

モタモタして  
やがると



この台風丸様が  
たたつ切るぞ!!

司祭(こ)は  
あつしにまかせて  
儀式の統きを!

うむ!  
すまぬ



私の魔力が  
徹らぬ!?



死ぬかと思つた...

あーっ  
びつくら  
こいた!



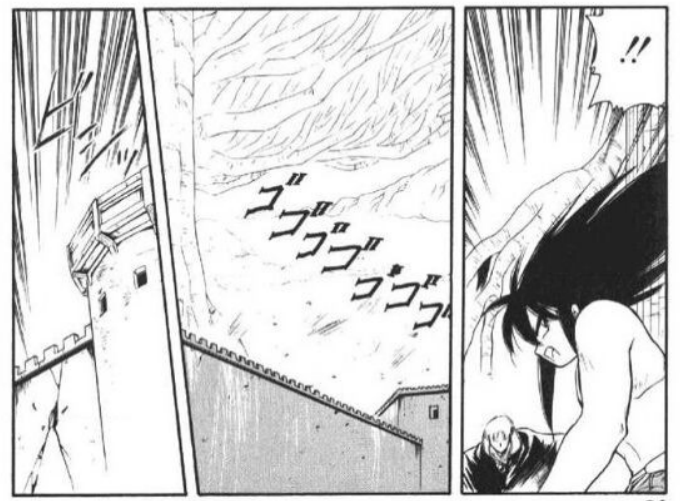
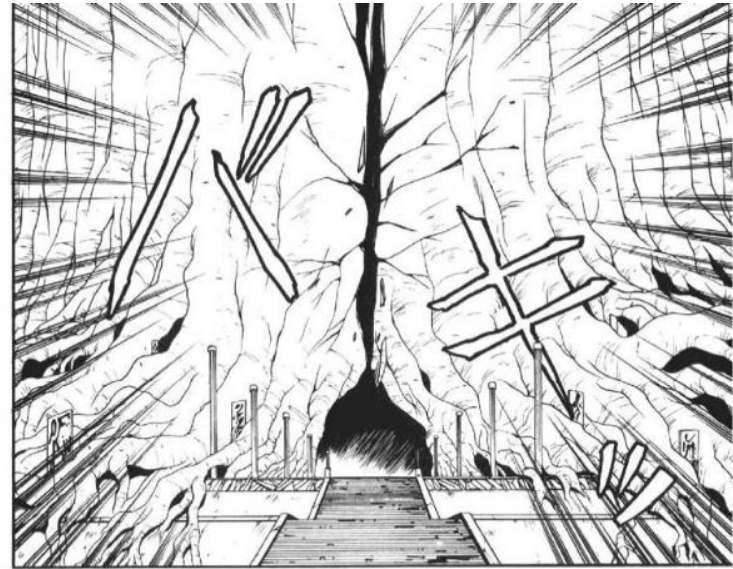
木霊戦士伝

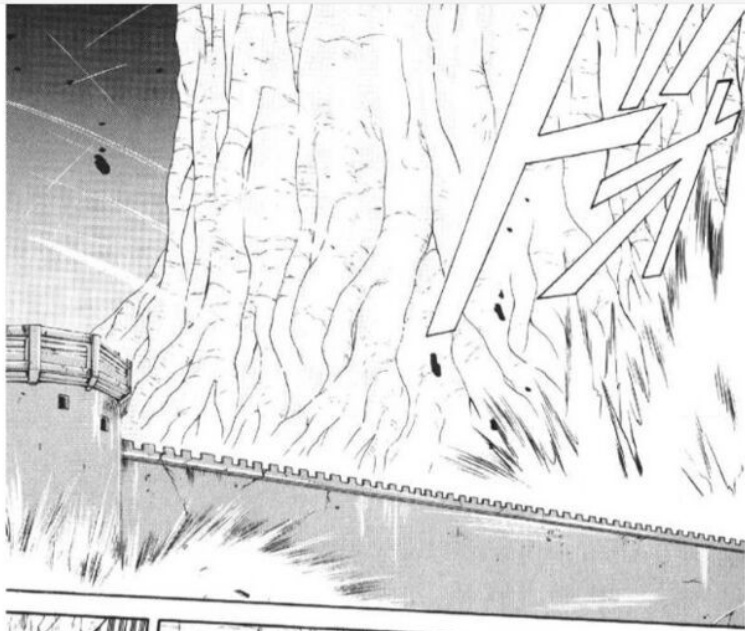




木霊戦士伝







# 木霊戦士伝

木霊在る丘・三



木霊戦士伝



貴様には特別邪悪な魔法でとめを刺してやろう



木霊戦士伝



ハクビシン!!  
次はてめえ  
でいつ!



木霊戦士伝



く...  
くそう...!!

はあ

はあ



覚悟する  
こったな!

貴様の魔力は  
あつしにやあ  
通用せんぜ



うるせえ!  
今とり込み中でいつ  
後にしろ!!

台風丸よ



もしまた我等と  
契約したければ  
修業しなおして  
くるこったな



倒すまで...

約束は約束  
じゃ



いんやこれ以上仲間が  
無駄死にするのを  
見過ごす訳には  
いかんからのオ

お前の体の  
守護を放棄  
する

おうよ



木霊戦士伝



あせるな！  
すぐにお前達も  
殺してやる

台風丸！



どうする!?  
わたしには奴を  
倒せる程の術は  
ない！

どうやって  
この場から  
この娘を逃がす  
!!



司祭...  
儀式は...

成功じゃ  
よくやってくれたぞ  
神は...世界樹は  
お前の体に宿った  
ぞ

気がついた  
のか？

そうですか  
よかったです...



ふんっ！  
目覚めおったか  
気を失ったままで  
あれば苦しまずに  
すんだモノを...

ハクピシン!!



では  
さらばじゃ

うおう!

精霊の守護が  
なければ貴様など  
ただの剣士

ふう

台風丸!!

ズ  
ズ  
ズ

ガ...ウツ

木霊戦士伝



天空をささえる  
神木・世界樹を  
祭る司祭の名に  
おいて召喚する

地に宿り  
地を司どり  
地を活かす  
大地の  
精霊よ!!

大地の  
精霊よ!!



我が前にその  
御姿を現ら  
せよ!

おう!!



人間が!?

俺様に何用だ!?



無理じゃやめろ!!

大丈夫です私とて戦上やります

樹が体内に入り  
まだ数刻も  
たっておらん!  
木霊を使いこなすどころか  
急な融合のため  
立つているのがやつとの位の  
激痛が体中を襲うて  
おるはず!!



私も見くびられたものだな...女などに刃を向けられるとは...



ぬう...



来いハクビシン!  
神鳴る力を  
見せてやる!!!



逃がすものか—っ!!



生きよ!  
生きて水霊使いの使命みごと果たしてみせよ!



おじい様!?!



火獣鉄爪!!!



なんでえ  
争い事かあ?  
俺様は人の  
いざごごには  
荷担しねえぜ

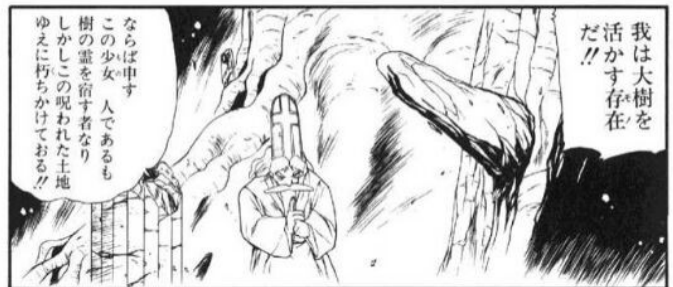
義理が  
ねえからな



大地の精霊か!?  
何のマネだ?  
精霊は契約のない  
者の言う事は  
聞かないはずだ!!



百も承知!!  
大地を治める  
精霊に問う!  
汝は大樹を活かす  
存在か?  
殺す存在か!?



我は大樹を  
活かす存在  
だ!!

ならば申す  
この少女 人であるも  
樹の霊を宿す者なり  
しかしこの呪われた土地  
ゆえに朽ちかけておる!!



司祭!!



承知!!



汝大樹を活かす  
存在なれば  
この少女を樹の茂  
りし肥沃な土地まで  
今すぐ  
百里を駆けさせ  
たまえ!

木霊戦士伝



見ろ……  
噴き出す  
邪神の妖気で  
封印の要石が  
オーバードロー  
しておるわ



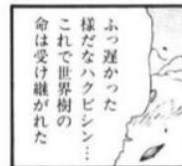
さあ共に祝おう  
ではないか  
我が神の復活を……



ちっ  
逃げられたか



うおっ



ふっ遅かった  
様だなハクビシン……  
これで世界樹の  
命は受け継がれた



そんな夢など  
つぶしてやる



ふん……  
小娘一人に何が  
出来るものか……



いつかきつと  
木霊使いが  
世界樹の力をもって  
貴様と……



# 木霊戦士伝

第二章 木霊鳴く谷へ





木霊戦士伝



気に入ら  
ないんだよ!!



キヤツ

だめ...  
木霊をうまく操る  
事が出来ない!!  
樹の精霊よ  
お願い! 思う様に  
動いて!!



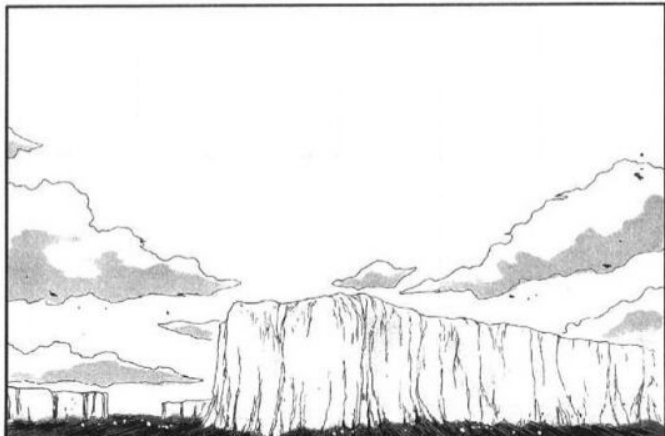
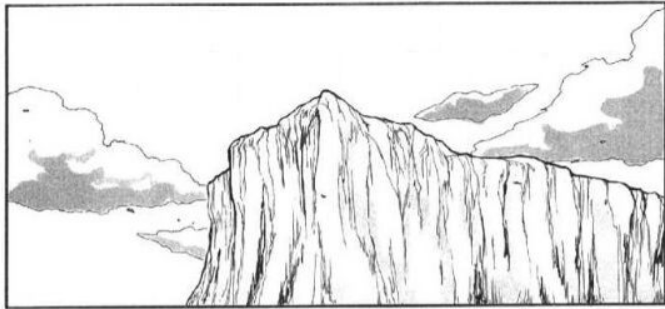
ほらほら  
どうしたんだい  
もう逃げないの  
かい？  
逃げなきや  
遠慮なくこの  
オセロットのムチで  
切り刻むよ



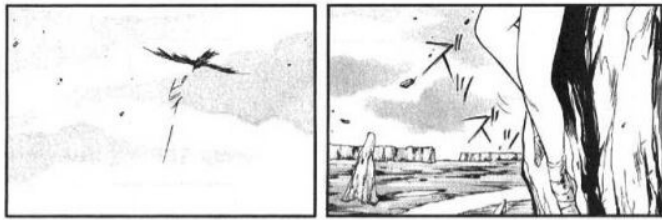
こんな所で死んじや  
司祭の夢が…  
世界樹を守って  
死んでいった仲間達の  
命を懸けた努力が  
無駄になっちゃう。  
死ねない…  
死ねるもんか！！



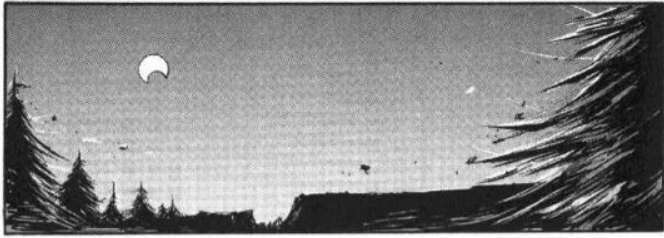
この樹が  
もう少し上手に  
使えれば…  
もう少し思っ通り  
動いてさえくれれば！！  
神様への  
御祈りは済んだ  
かい  
私はあんたなんか  
に時間かけてられる程  
暇じゃないんだよ  
さっさと  
死にな



木霊戦士伝



木霊戦士伝



よう  
気が付いた  
か？



あたたかい…  
炎？



あ…

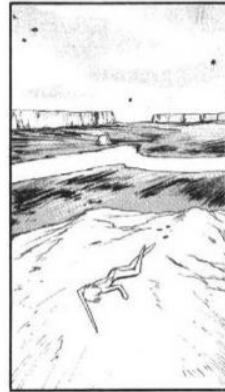


早くここを  
離れなくつちや  
あいづが…  
オセロツトが



はあ

はあ



？！  
ダメ…

あ！  
あのムチに  
毒が？

木霊戦士伝



味には自信  
あんだぜ

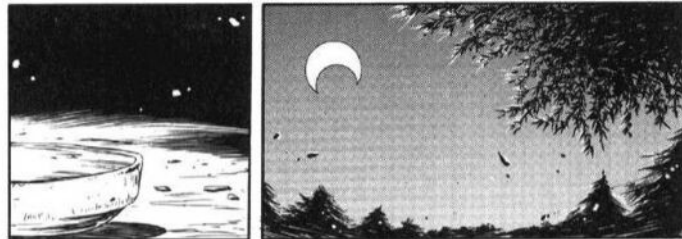
手からじゃ  
体も暖まらねえし  
味だって分からねえ  
だろ

食べよ



安心しな  
毒なんか入って  
ねえからよ

入ってもどうせ  
平気なんだろう？



ふんっ  
邪神がねえ…  
とおりで最近、魔物や  
邪霊やらうさん臭い  
のがやたらウロウロ  
してると思ったぜ

で、ねえちゃんが  
これから奴等を  
やっつけてくれる訳だ  
その右手の神木で…



あなたが  
助けてくれたの  
？

へへ…まあな  
甘い臭いに誘われて  
来てみたら、あなたが  
倒れてたって訳だ

あなたの体には  
はえてる樹  
いい臭いがしてるぜ  
今度厭めさせて  
くれな



でもなぜ私  
生きてるのかしら  
確かオセロットに…  
毒の攻撃を受けて…



良く出来た  
体だよ

どうやら  
その樹の根が毒を  
こし出して地中から  
養分を取り込んで  
いるみたいだな

ドクン  
ドクン

木霊戦士伝



バカ野郎！  
自然の力……いや  
他の存在を自分の  
思い通りに扱おう  
てな根性が気に入ら  
ねえってんだ



そんな事は……  
でも世界樹の木霊の  
力を使えなければ  
……

自由に扱え  
なければ敵は  
倒せないのよ



他の存在……  
樹や風……  
自然ってもんは人の  
思い通りに出来る  
そんなちっぽけな  
モンじゃねえ

だからこそ……  
偉大な力なんだ  
奴等は人や獣……  
あらゆる存在を  
育み生かす

ましてや樹だって  
死にたがってる  
訳じゃない  
だからあんたを  
助けてんだ



思い通りに  
動かないからって  
力にならない  
訳じゃねえ

思い通りに  
動かねえ存在でも  
自分の為に使う  
方法を考えるのが  
人の知恵ってヤツだ



あんたがトンチンカン  
な命令するから  
樹がとまどって  
動けねえのかも  
しれねえしな

私は戦士だ！  
戦い方について  
お前にとやかく  
言われるすじあい  
はない!!



そのつもり  
だったわ……  
けど

よく出来た  
体と言われても  
木霊を自由に  
扱えなければ  
どうしようもないのよ



今日を生き  
のびられたと  
言っても

明日生き続け  
られる保証は  
ないのよ



せめて剣が握れば  
まともに戦える  
かもしれないけれど  
この手では……



へっ……  
いい草だねえ

ねえちゃんは何度も  
その樹に命を救われ  
てんだろ？

なのにならと自分の  
思い通りに動かねえって  
だけで邪魔モンか？

木霊戦士伝

このままでは私  
とても木霊使い  
としての使命が  
果たせません……

なのに私はあなた  
から木霊を扱う  
技術すらも教わる  
事が出来なかった  
私はこれから  
どうすれば良い  
のでしょうか……



司祭なぜ死んで  
しまわれたのですか……  
あなたが生きていて  
くださったなら  
私はもっといろいろな事を  
学んで……修業させて  
いただいていた……



助けて  
お願い……

助けて下さい  
司祭……



人の話  
聞いてんのか  
コラ！



おい！この  
バカ野郎



あ……コラ！  
何処行くんだ



畜生！なぜ  
あんな奴にまで  
バカにされなきゃ  
ならない？  
時間がもう少し  
あったなら……  
司祭が生きていて  
くれたなら



司祭……

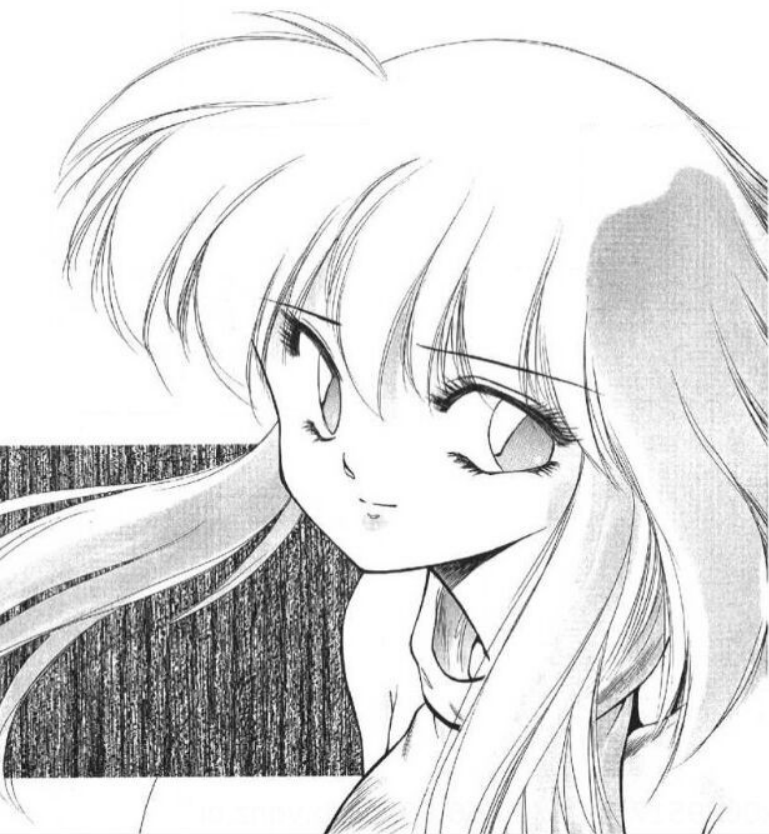


生きよ！  
生きて木霊使い  
の使命みこと  
果たしてみせよ！！



# 木霊戦士伝

木霊鳴く谷・二







生きて  
おるぞ  
おおじ様



のう  
黒死蝶

おう  
生きておる



この女はまだ  
生きておるな  
蠟燭



この姉ちゃん  
俺が先に  
拾ったんだ  
やらねえぞ

きやっ!!



蟲が  
つき  
おった...

おう  
蟲だ



ほう...  
おまけに蟲まで  
ついておるぞ



なんか用か  
てめえら!!



この女...  
手に聖樹を  
植えておるぞ

オセロット様は  
岩山より落ちて  
死んだと申して  
おったが...



うるせえ!!  
こいつ等はオレ様を  
蟲ケラ呼ばわり  
したんだ!!  
黙っていられる  
かよ!!



足元も  
おぼつかない  
奴が偉そうに  
口きいてんじや  
ねえよ  
あなたが  
蹴ったんじや  
ない



人だか蟲だか  
分からん様な者は  
下がっておれ!

我等はハクビシン  
様に仕える。獄門衆。  
手に樹を植える者の  
首を持ち帰る様に  
申しつかつておる



何だとお



邪魔立て  
すると  
死ぬぞ



これ以上  
あなたに  
迷惑はかけ  
られないわ



下がって!!  
彼等の狙いは  
私一人!



こいよ!!

オレ様を蟲ケラ  
呼ばわりして  
五体満足でいた  
奴はいねんだぜ

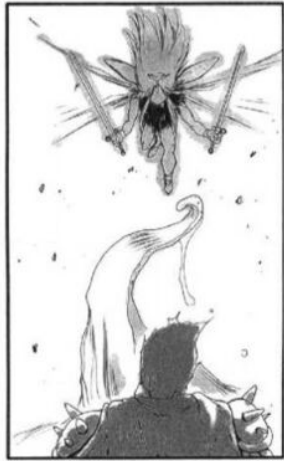


どげ  
きやつ!!



どげ  
きやつ!!





餓飢地獄洞穴!!!!







そんな奴が  
この世にイイイ!!

めううっ!!  
法印剣士か!?  
しかも守護印を  
組み上げながら  
剣撃をかわす  
とは...



ひっ...  
ひいっ!!



お...  
おおじじき...  
様あお助け...  
お助けををを



ひっ



けひいっ!!



うおおおおっ!!



# 木霊戦士伝

木霊鳴く谷・三



邪魔立てすると死ぬんじゃないのかよ

俺はまだ生きてるぜ!!

何者なのあの男...



っ...強い!

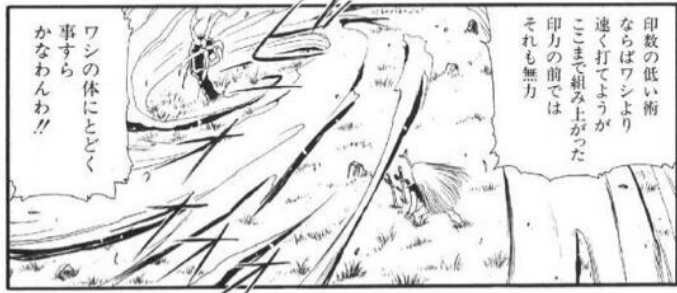




お前はもうワシよりも印数の多い術を速く組む事は出来ん!

今さら後悔してもおそいわ!

すげえ大口たたくだけの事はあるぜ  
複雑な印をそんなに手早く組めるとは



ワシの体にとどく事すらかなわんわ!!

印数の低い術ならばワシより速く打てようがここまで組み上がった印方の前ではそれも無力



おとなしくそこで天にでも祈っておれ!

貴様にはもう勝つ術はない!



やってみなくちゃ分からんてよ

言つたろうがよ



さもなくばただの愚者

先手を敵に譲るなど余程の自信があるのか



さあっ!

そんな事アやってみりや分かるってよ



己れの慢心を地獄で悔いるが良!

己れの慢心を地獄で悔いるが良!



い：いかん  
奴は4本腕で  
倍の速度で…

このままでは！

どうした  
速くしねえと  
追いつくぜ

あと少しで  
印が組み終る

あ、あと  
二印で

追いついた

ひっ！

ぬかれた

4本の腕全てで  
印を!!

しかも  
速い!!

どうした  
手が止まってる

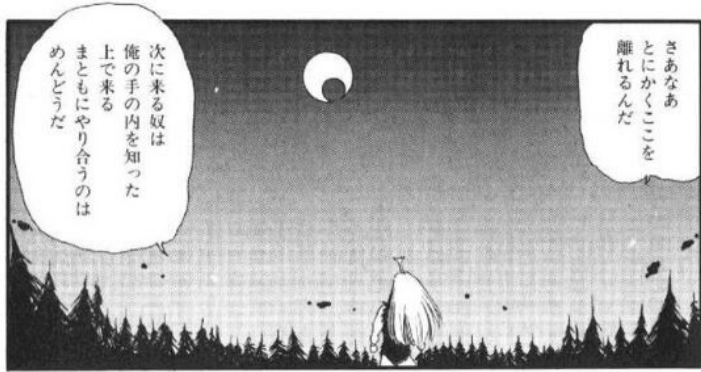
ちいっ

速い！

二人の手の動き  
が見えない







さあなあ  
とにかくここを  
離れるんだ

次に来る奴は  
俺の手の内を知った  
上で来る  
まともにやり合うのは  
めんどうだ



その木霊を  
使いこなせない  
限りな



どうい  
事?

お前も死にたく  
なければ俺に  
ついて来い

お前はそその樹を  
体に宿している  
限りいつか必ず  
殺される



だが俺について  
来れば教えて  
やれる

自分以外のより  
大きな力を使う  
術をな



そうね...



肉体は滅ぼし  
たが霊体を  
封滅しそこなつた



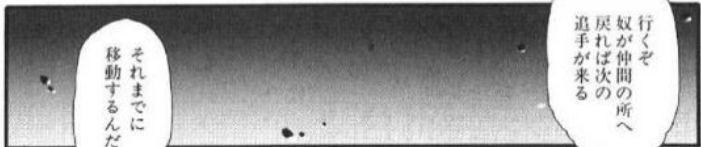
え?

逃げ  
られた...



あのじじい  
攻撃の印を組み  
ながらも方が一の時  
の為に幽体離脱  
の為に印を組み入れ  
ていやがつたんだ

巧に擬装され  
てて気がつか  
なかつた...  
これだから年寄り  
は食えねえや



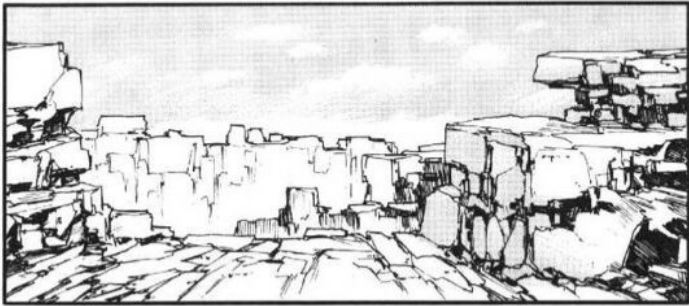
行くぞ  
奴が仲間  
の所へ  
戻れば次の  
追手が来る

それまでに  
移動するんだ



どこ  
何処へ?

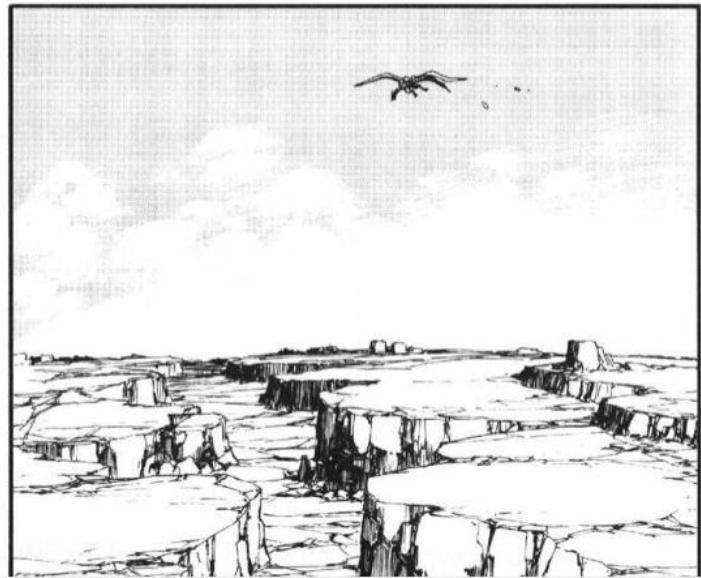
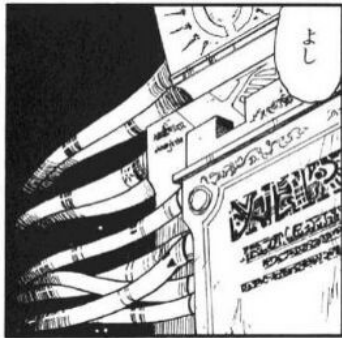
木霊戦士伝



木霊戦士伝



木霊戦士伝



# 木靈戰士伝

木靈鳴く谷・四



木霊戦士伝

約束を果たして  
もらえないのならば  
あなたと居る  
必然がないわ

私はこんな所で  
時を無駄にして  
いるわけには  
いかないの

こうしてる  
間にも  
ハクビシンは  
人々に災を...

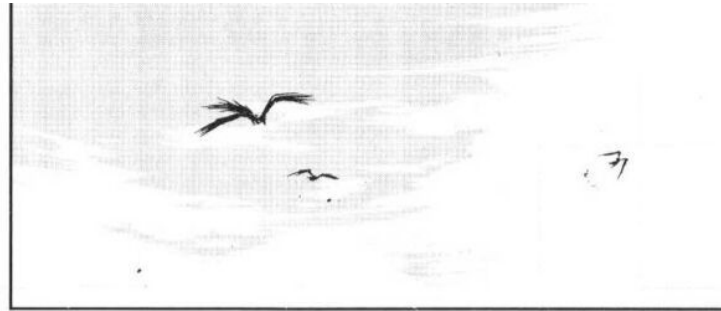
助けてくれて  
ありがとう  
さよなら

お前、借方って  
知ってるか？



自然や宇宙  
森羅万象  
全てのモノが  
持っている力を  
借りるって事だが

お前の場合  
世界樹の木霊の  
力を借りる事に  
なる訳だ



あらっ、

いつになったら  
木霊を扱う術と  
言うのを教えて  
くれるの？

そう急くなつて  
せつかな女だな

木霊戦士伝



そうだな

わかるまで何も  
しなくていいと  
言っても困るだろう

どうすればいいか  
人は自分が主体で  
いることに慣れ過ぎ  
てるからな

そのために…  
私はどうすれば  
いいの？



それを感じ  
それに身をゆだね  
てみな

その樹が何を思い  
何をお前に与え  
ようとしているのか

心を静かにもって  
イメージしてみな  
樹と対話するんだ



木々の実が  
熟すまでの時間は  
決して無敵な時間  
ではない

まあ朝聞いて夕に  
出来る様な事じゃない  
ゆつくりとそれが理解  
できる時を待てばいい



またそれだ  
お前は力み  
過ぎんだよ

それを！  
どうすれば  
木霊の力を借り  
使う事が出来るの  
!?



借りてやろう  
使つてやろう  
なんて奴に他人が  
金を貸すか？

それは人の作爲で  
自然な流れ  
じゃない

お前が自分の理屈で  
樹をコントロール  
しようとするのは  
勝手だが

それは樹が自分の  
理屈で生きようと  
するのを邪魔して  
るに過ぎねえんだぜ



けど…  
思い通り動かせ  
なければ戦えない

武器として  
私の学んだ技が  
生かせないわ



道具が変わった  
位で使えなく  
なる様な技術なら  
捨ててしまいな

お前はそその手に  
樹を宿した時から  
もう以前のお前とは  
違うんだ

もつと樹の力を  
信じて任せて  
みな

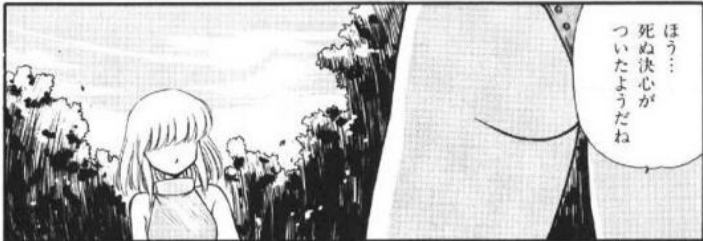
そうすれば  
樹はお前を  
助けてくれるはずだ





木靈戦士伝







そして  
あなたと私が  
生きるために!!



さあ  
これで終り  
だよ!!

今度はもう  
手間をかけさせ  
んじやないよ!!!



木霊よ!!





打っ？

打て打て！！



！！



!?



ちっ！！



キシ キシ



僧力？

木が私を守る…  
これが木霊の力!!



な…  
なんだ!?



や  
やった…  
のか？

大丈夫？  
しっかりして？

ええ…  
あなたのおかげよ  
ありがとう

良かったな…  
これで俺も約束を  
果たせたって訳だ

まだよ  
まだ名前を  
教えてもらって  
ないもの…  
だから死なないで

うおうつ！！

こ…これが  
木霊の…  
世界樹の力…か

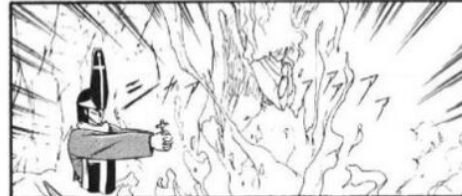
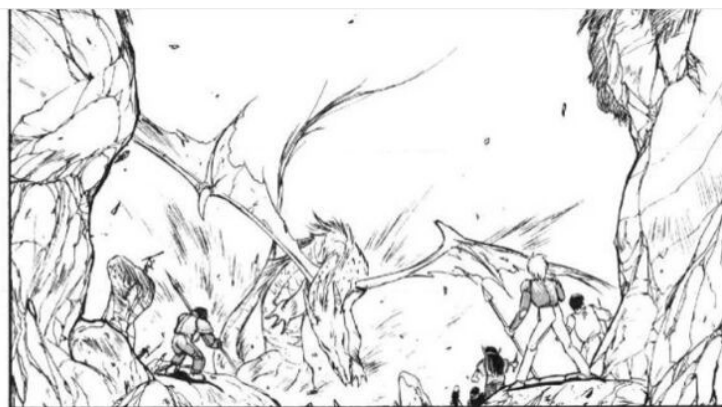
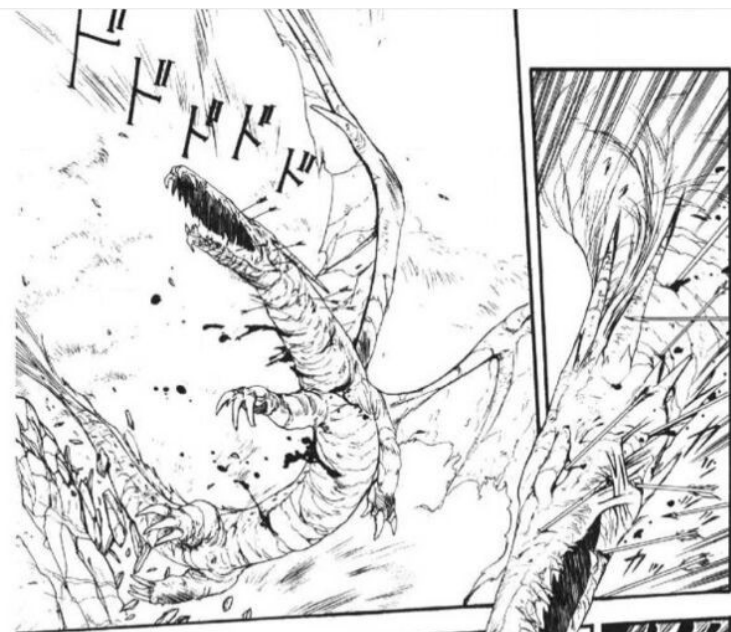
ハクビシン様…  
申し訳…

# 木霊戦士外伝



昔 その樹は天空を支えその霊力により  
世界を鎮護していたという  
そして今、私と共に人の世を支える





ひるむな？  
神官は天使を  
降臨させて  
守護させろ



化物の邪氣  
を封じて天の運を  
我々の方に呼びこ  
んだ？

木霊戦士外伝



世界樹の生命力が弱まり  
今にも枯れんとした時  
「木霊使い」達はなんとか  
樹の霊力を保とうと  
樹の一部を人の体に継木をして  
生き存えさせたそうじゃ

そして樹を継いだ者は  
いつか世界樹の生命力が  
復活し再び豊かな大地に  
根を下すその時まで  
木と共に生き続けておる  
そうじゃ



ただの伝説  
だろ！

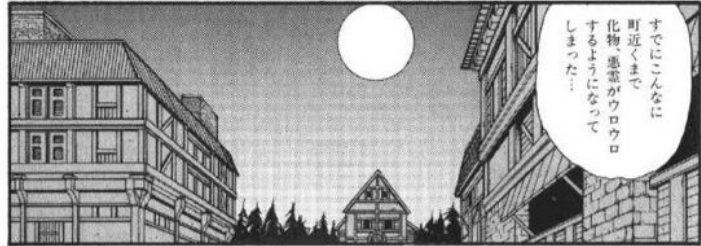
そして自分の  
不備によって魔物が  
出現し出した事に  
責任を感じた  
その「木霊使い」は  
一人で魔物と  
戦い続けておる  
そうじゃ



その者は手に  
木の剣を生し  
木霊を操り  
魔物と戦い  
天を地を駆けて  
おったそうじゃ

噂だろ  
噂……  
根も葉も  
ありやしない  
世界樹として  
樹じや根や葉  
ぐらにある  
じやろて

ボケたか  
バアさん



すでにこんなに  
町近くまで  
化物、悪霊がウロウロ  
するようになって  
しまった……



畜生、木霊使い、共は  
何をしていたが  
世界樹を守り、怒りを  
後世に伝えるのが  
奴らの使命だった  
はずだ！

しかたあるまい  
世の悪業を討じる  
要石的存在で  
あった世界樹はもう  
枯れてしまったのだよ



ディアアプロよ……  
木霊戦士と  
いうのを知って  
おるか

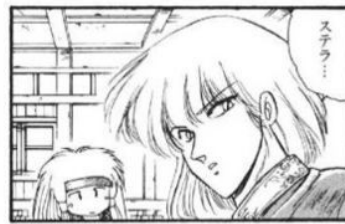


ディアアプロ……



うむ

木霊戦士？



木霊戦士外伝



木霊戦士外伝



くそっ  
矢が散らわえ  
じゃねエか?



ちっ  
月が立たんか?



おおおーっ

ぐけあつ?



西門に天使が  
降りました  
千恵以上の  
大天使です!



逃げるな!  
町から出たら  
おしまいだぞ!!



戦え!  
戦うんだ!!

天使が降りていれば  
魔物の力は  
弱化される  
この結界内なら  
必ず化物を殺れる



くそっ  
やるしかないか?  
戦ってやる!!





木靈戰士外伝



木靈戰士外伝



木靈戰士外伝



木靈戰士伝



